

# 自己決定プログラムへのステップ

---

ウメダ・レイコ

自立ファシリテーター

## スライド 2

### 背景

- 日本で生まれ育つ
- カリフォルニア州立大学フラトン校で学士号を取得
- カリフォルニア州立大学ロングビーチ校で修士号を取得
- 低所得世帯の子どもを対象とした就学前ディレクターに就任
- 低所得層の子どもたちを支援する非営利団体を立ち上げる
- 現在、組織は日本人コミュニティのサポートを実施

## スライド 3

### 従来のシステム vs. 自己決定プログラム

#### 従来のシステム

- 全年齢
- サービスの選択肢が限られているか、リージョナルセンターベンダーのみ
- リージョナルセンターが支払いを行う
- リージョナルセンターに責任がある
- IPPのみ

## 自己決定プログラム

- 3歳以上の全員
- あらゆるサービスプロバイダ
- 財務管理サービス (FMS) が支払いを行う
- あなたに責任がある
- 本人主体の計画および IPP

## スライド 4

### よくある質問

- 自己決定プログラムとは？
- 自己決定プログラムの受給資格があるのは誰か？
- 自己決定プログラムへの移行にはどのくらい時間がかかるか？
- 何故、従来のシステムよりも自己決定プログラムを選ぶ人が多いのか？
- 自己決定プログラムに移行するためにやらなければならないことは沢山あるか？

## スライド 5

### 自己決定プログラムへのステップ

1. オリエンテーション
2. 予算
3. 自立ファシリテーター
4. 本人主体の計画
5. 支出計画
6. 財務管理サービス (FMS)
7. 自己決定プログラム！

## スライド 6

### ステップ 1：オリエンテーション

- オリエンテーションに出席する必要がある
- リージョナルセンター
- 州発達障害者協議会（SCDD）
- 証明書！

## スライド 7

### ステップ 2：予算

- 過去 12 ヶ月間の支出
- 一部のリージョナルセンターではすぐに提供され、他のリージョナルセンターでは後から提供される
- まだ署名しないこと
- これらは最終的なものではない

## スライド 8

### ステップ 3：自立ファシリテーター

- ▶ 自立ファシリテーターはどこで見つけるか
- ロコミ
- SDP ネットワーク
- リージョナルセンターの SDP コーチ
  - ▶ 何を尋ねるべきか
- 経験はあるか？
- どのようなサービスを提供しているか？（本人主体の計画のみか？それとも、自己決定プログラムへの移行に至るまでか？）
- 自己決定プログラムに移行した後も、サービスを提供してくれるか？
  - ▶ 自立ファシリテーターの費用はリージョナルセンターが負担

## スライド 9

### ステップ 4 : 本人主体の計画

- - 本人に関するすべての物事
- 希望と夢
- 目標
- ニーズ
- 本人主体の計画の作成後の IPP ミーティング

## スライド 10

### ステップ 5 : 支出計画

- - 予算の使い方に関する詳細
- ニーズに基づいたもの
- 本人主体の計画の目標に関連している必要がある
- 各リージョナルセンターには独自のルールがある
- 包括的なリソースを最初に使用する必要がある（保険、学校など）
- 家賃、食事、エンターテインメントなし

## スライド 11

### ステップ 6 : 財務管理サービス

- ▶ - 見つけ方
- ▶ どのモデルやタイプを選択するか
  1. 請求書支払人：代理店や企業のみを利用する
  2. 共同雇用主：代理店や企業を利用し、個人を雇用する
  3. 単独雇用主：あなたが雇用主である

- ▶ 保険を担当するのは誰か

## スライド **12**

### ステップ 7: 自己決定プログラム

- 毎月 1 日
- 従業員（個人）の身元確認
- ベンダーフォーム（代理店・企業）

## スライド **13**

### 覚えておくべきこと

- ニーズ vs. 希望
- 各リージョナルセンターには異なるルールがある
- 予算は個々のニーズに基づいている
- コミュニティ統合